

2023年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
HOUSE 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	SAM/PIn0/HERO			実務経験	有	職種	プロダンサー				
担当教員紹介											
【SAM】 単身NYへ渡りバレエ、jazzダンスなどの基礎を修得する。ストリートダンスからアカデミックなダンスまであらゆるダンスをバックボーンに持つ。TRFコンサートの振り付け、構成、演出はもちろんSMAP、V6、浜崎あゆみ、BoA、東方神起、郷ひろみ、山田優、その他多数のアーティストの振り付け、コンサートプロデュースを行いダンスクリエイターとして幅広い活躍をしている。 【PIn0】 ストリートダンスの世界大会「JUSTE DEBOUT」にて日本予選を優勝で勝ち上がり、そのままパリで行われた本選でも優勝。世界タイトルを獲得。常にオリジナルであり続ける枠にとらわれないフリースタイルでの表現は、現在もダンサーのみならず様々なジャンルのアーティスト達から絶大な支持を得ている。 【HERO】 2013年パリで行われた「CERCLE UNDERGROUND」優勝。2017年チェコ「STREET DANCE KEMP」crew battle優勝。 現在は、「至芸」のメンバーとして、国内外でのSHOWや バトル、ヨーロッパなどで数多くWORKSHOPを忙しい日々を過ごす。そして学校教育では、東京や川崎市立小中学校の表現体育等の授業でダンスを指導、高校などでもダンス顧問とし指導を行っている。											
授業概要											
この科目ではストレッチやアイソレーション等、ストリートダンスに必要な基本的な体の動きを学びます。またハウスのステップを確実に修得したうえで、作品作りではコンビネーションや様々なテクニックを学びます。											
到達目標											
HOUSEの基礎的な体の動きを土台とした応用的な表現方法をコンビネーションやルーティーンを通して理解する。音楽の中でグルーブを掴み表現する。											
授業方法											
ストレッチ、体幹トレーニングによる基礎体力作り、アイソレーションを通して体の動き理解する。 毎レッスンテーマにそった課題振付を反復練習する事でステップやコンビネーションを修得する。											
成績評価方法											
成果発表 平常点	50% 50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	SAM先生基礎①/基礎的なステップを中心に1年次で習得した基礎技術のレベルチェックを行う										
第2回	SAM先生基礎②/レベルチェックに基づき精度が高くないステップを中心に基礎を固める										
第3回	SAM先生基礎③/オーソドックスな基礎ステップの流れを複数パターン覚え、2人1組で練習する										
第4回	PIn0先生基礎①/上半身の使い方に重点を置いたステップとルーティーンを実践する										
第5回	PIn0先生基礎②/上半身の使い方に重点を置いたステップとルーティーンを実践する										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
HOUSE 3	
第6回	PIn0先生基礎③/上半身をしっかりと使い、よりダイナミックな見せ方で振付を表現する
第7回	HERO先生基礎①/音楽に合わせリズムを意識したステップワークを行い、基礎技術のレベルチェックを行う
第8回	HERO先生基礎②/音楽とリズムを意識し、ステップがよりスムーズにつなげられるように練習する
第9回	HERO先生基礎③/2人1組で上半身・リズムを意識し、既定のステップをつなげて発表する
第10回	SAM先生表現力向上①/速いテンポの楽曲でより正確に基礎ステップをつなげて表現できるように反復練習を行う
第11回	SAM先生表現力向上②/複数のステップをつなげ、長い振付にも冷静に対応ができる集中力を養う
第12回	PIn0先生表現力向上①/上半身の動きとフロアを利用したアクロバットを取り入れた振付を実践する
第13回	PIn0先生表現力向上②/アクロバットを取り入れたダイナミックな振付を踊りきる体力を養う
第14回	HERO先生表現力向上①/変則的なステップやリズムを取り入れた振付で表現力の幅を広げる
第15回	HERO先生表現力向上②/既定の振付に続けて、リズムを意識して自分が得意なステップをつなげ発表する